

17	また、左足指に白癬(はくせん)(tinea)があり、薬が処方されていることも確認された。	Terus di bagian kaki kiri kakinya, kaki kirinya, ada 白癬[日本語で発話する]。白癬[日本語で発話する] itu apa ya, di nihongo, eu, putih, pokonya ada 白癬[日本語で発話する] di bagian kaki kirinya itu kayak terkelupas putih-putih gitu, terus ada dikasih obat dan di konfirmasi [日本語で発話する] telah di konfirmasi [日本語で発話する].	左足には「白癬」がついている。「白癬」は何ですかね。とにかく左足には「白癬」がついている。左足には抜けるような白っぽいものがある。そして薬で塗って確認した。		
18	(問題114)介護支援専門員(ケアマネジャー)が招集した会議として、正しいものを1つ選びなさい。	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
19	1 退院前カンファレンス	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
20	2 サービス担当者会議	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
21	3 支援調整会議	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
22	4 地域ケア会議	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
23	5 介護・医療連携推進会議	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
24		終わりました先生[日本語で発話する].	「終わりました先生。」		
25				うん。この問題と答えをつなげて、	
26		あっ[日本語で発話する].	あっ。		
27		[問題用紙を読んでいる]	[問題用紙を読んでいる]		
28				ちょっとインドネシア語で書ってくれるように、これを使ってって、わからない部分が、	
29		Hm? Nggak disuruh ngumpulin kan ini?	ん？これを出すと書かれていないよね？		
30		Iya, maksudnya, apa yang mau dikumpulin maksud aku jadi aku kasih tanda gitu.	うん、だから、何を出せないとけないか、そこにマークを付けようと思う。		
31				私もよくわからないけど、とにかく、彼は、彼の役割、その仕事は何ですか。	
32		ini kan, fungsinya apa gitu, サービス担当[日本語で発話する], kali ya, uh-uh, サービス担当.	あれでしょう、役割は何って、「サービス担当」かもしれないね。うん、サービス担当.		
33				じゃ、それがわかるね。どうしてそうしましたか。	
34		Karena kan fungsinya ケア[日本語で発話する] manajer kan memang dia 担当 dari, memang di fungsinya ケア[日本語で発話する] manajer kan memang sebagai penanggung jawab di dalam ruangan会議[日本語で発話する], kalau, terus untuk menanggungjawab terhadap ke pasiennya kan walau memang si ケア[日本語で発話する] manajer itu fungsinya di buku juga ada, kayaknya mah, gatau deng.	この部分。この部分はわからない、これは集めるようにさせないでしょうか「ケア」マネジャーの役目は、確か彼は、から「ケア」マネジャーの役目は「会議」室で責任者でしょう。利用者に対する責任を持つでしょう。教科書でも「ケア」マネジャーの役目が載っている。そうだと思うけど、わからない。		
35				介護支援専門員は、もとサービスさんとして社会に必ず参加しなければいけないことで本人も行ったことがあるのでここで答えは2に選びました。	
36	(問題115)図はFさんのトイレである。手すりを設置する位置として、最も適切なものを1つ選びなさい。	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
37	1 A	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
38	2 B	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
39	3 C	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
40	4 D	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
41	5 E	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
42		Dia kan di 左[日本語で発話する] ya. Di 左[日本語で発話する], D. E. 手すり[日本語で発話する], Hmm, Kayaknya A deh.	彼は「左」側、ですね。「左」に、D. E. 「手すり」、ふーん、A かもしれない。		
43				思ったことをインドネシア語で書いて下さい。大丈夫ですか。答えがわからないですか。文書で送っていきなさい。	
44		Oh, nggak, nggak tau jawabannya, bukan bingung kalimatnya	あ、いや、文書で送っているわけじゃなくて、答えがわからないです。		
45		hha [笑う]	ふふふ [笑う]		
46				答えがわからないですか。	
47		はい、A選んでました[日本語で発話する].	「はい、A選んでました。」		
48				どうしてですか。	
49		あ、左麻痺がありますのでだからこれは左どろが麻痺は動かないので、だからこれもあう[日本語で発話する].	「あ、左麻痺がありますので、だからこれは左どろが麻痺は動かないので、だから、これもあう」		
50				インドネシア語で、	
51		Bagian, Kan dia bagian kirinya mah, eu, nggak bisa bergerak, jadinya kalau bagian kirinya kan pasti mochiron, zettai salah kan. Terus bagian ushiro juga nggak mungkin dia pegangan ke belakang. Jadi, terus bagian sini juga ini terlalu chikai. Jadi, bagian sini yang lebih, lebih apa, kalau mau pegangan, gitu.	左側に麻痺があるので動けない。だから、左はもちろん、絶対に間違っている。さらに、後ろの方に自分を支えることはありえない。これも近すぎる。だから、こちらの方が有り得る。		
52				次の問題見たいです。インドネシア語で考えながら。	
53		話しながら[日本語で発話する].	「話しながら、」		
54				はい、話しながら大丈夫です。	
55		eu, apa ya.	うん、それは何ですか。		
56	(問題116)訪問介護員(ホームヘルパー)が、自宅に買ったFさんの皮膚疾患に関する日常生活上の留意点を妻に指導する内容として、最も適切なものを1つ選びなさい。	Pegawai yang berkunjung ke rumah, pegawai yang berkunjung. Terus dia dari rumahnya si Fさん[日本語で発話する] ini kembali 皮膚皮膚[日本語で発話する] apa ini bacanya [聞き取り不能]かん、何、かん[日本語で発話する] apa sih.	在宅訪問した職員は、訪問した職員は、で彼は「Fさん」の家から、またこれ「皮膚、皮膚」[聞き取り不能]かん、何、かん。		
57	1 からだを温める	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
58	2 足を乾燥させる	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		

59	3 着衣や寝具は熱処理する	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
60	4 足にワセリンを塗る	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
61	5 処方された塗り薬は気がついたときに塗る	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
62					悪くなる。「悪化」です。教えないでください。
63		Ah ya, ya, ya. Pokonya 悪化[日本語で発話する] apa di bagian kulturnya, apa, yang berhubungan dengan kulturnya itu, dia untuk 日常生活[日本語で発話する] nya itu apa yang harus di ritein.[日本語で発話する] itu, apa yang harus diperhatikan. Terus istrinya itu, 指導する内容として[日本語で発話する], apa, membimbing.	あーうん、うん、うん。とにかく、「悪化」。確か皮膚の部分にアガ。皮膚との関係があるから。彼は「日常生活」のために「書いて」すべきことは何だろう。注意すべき内容として。奥さんは、奥さんは「指導する内容として」。		
64		Istrinya itu, untuk cara ngebimbingnya itu, intinya ngebimbingnya itu apa yang dilakuin gitu.	つまり、奥さんは指導のしかたのためにどうしたらいいか。		
65		最も適切なものを1つ選びなさい[日本語で発話する]。	「最も適切なものを1つ選びなさい。」		
66					思ったことをインドネシア語で。
67		足[日本語で発話する] dikeringin ga mungkin kan.baju, 道具[日本語で発話する] dipanasin juga kayaknya ngga. ah ini gak, gak penting yang berhubungan sama 皮膚[日本語で発話する] nya. chottoと三角[日本語で発話する]。Ini 処方された[日本語で発話する]。[5番の答えを読んでいます]ah kayanya ini juga nggak. Soalnya kan masa pas pada saat dia ngeh doang kusurinya di itu, maksudnya di, dioles kan? 薬はきずいたときに塗る[日本語で発話する]。Ya毎日毎日じゃない[日本語で発話する]? 体温める、これも、じゃないね[日本語で発話する]。Ch, tunggu, 白癬[日本語で発話する] itu di 左足, 左足, 日本語で発話する] iya.	「足」を乾かすのは不可能だから「バツ」。着衣と「道具」が熱処理する。暖めても不可能だから「バツ」。ア、これは「皮膚」と関係があるから大切じゃない。「ちよっと三角」。処方された。[5番の答えを読んでいます]これも「バツ」。「気が付いたときだけ薬を塗るのは」不可能。毎日塗るはずですよ。「体温める。これも、じゃないね」。あっ!ちよっとまって、「白癬」は「左足」ですね。		
68					どうしてですか。インドネシア語で。
69		あ、あのう、薬はきずいたときに塗る[日本語で発話する]	「あ、あのう、薬はきずいたときに塗る。」		
70		Di sini ada tertulis白癬 左足[日本語で発話する] nya itu, di bagian kakinya itu, ada 白癬[日本語で発話する], jadinya untuk yang 処方[日本語で発話する] nya, si 留意点[日本語で発話する] ini yang di toh[日本語で発話する]。au kalau dikeringin kan makin kering, jadi ini 白癬[日本語で発話する] salah. Terus kalau baju sama 道具[日本語で発話する] nya itu di apa, 熱[日本語で発話する] dipanasin, kayaknya ga mungkin, ばつ[日本語で発話する]。terus ini 処方された塗り薬は気がついた時[日本語で発話する] jadi ga mungkin pas ngeh doang, jadi kalau bisa sih, 毎日毎日[日本語で発話する] jadi ini ばつ[日本語で発話する]。terus 体も[日本語で発話する] juga di 温める[日本語で発話する] juga kayanya, ngga deh ya. Kayaknya ばつ Jadinya 足[日本語で発話する] nya itu dikasih vaseline. Vaseline itu kan vaseline lotion itu kan lotion, vaseline.	ここには「白癬」とかいてある。足の部分に「白癬」がついている。だから「留意点」には「として」。もし足を乾かせばかきすぎ、これも「バツ」。そしてもし着衣と「道具」を乾かせば不可能のようだから「ばつ」。また、「処方された塗り薬は気がついた時」だけは不可能。「毎日毎日」しなないとだめだから「バツ」。「体も」温めるのも不可能だから「バツ」。だから「足」にワセリンを塗る。そのワセリンローションでしよう。「ワセリンローション」でしよう。だから、4番にしました。		
71					国家試験の時は自分だけ考えますから、聞かないでください。
72		はいこれは[日本語で発話する] vaselin塗り薬だから、バセリンだから、4番にしました[日本語で発話する]。	「はい、これは」vaselin塗り薬だから バセリンだから、5番にしました。」		
73					[聞き取り不能]ましようか。はい、どうぞ。はい。総合問題2。
74	(総合問題2) 次の事例を読んで、問題117から問題119までについて答えなさい。 【事例】Gさん(84歳、女性)は、8年前に経済的な理由から介護老人ホームに入所した。	Gさん[日本語で発話する]84tahun, laki, ee Perempuan.総合問題2です。Gさん[日本語で発話する] umur 84 tahun perempuan, 8 tahun sebelumnya ekonomi, sss ekonominya itu, eee ekonominya duh, apa ya Indonesianya berdasarkan eee ekonomi, ekonominya alasan ekonominya, dia itu kai masuk ke dalam 介護[「介護」の言い間違い]老人ホーム[日本語で発話する]。	「Gさん」84歳、男性、あー、女性。「総合問題2」です。「Gさん」84歳、女性以前経済的に、彼女の経済的、えー経済的、インドネシア語でなんと言う意味か、経済的に、経済的な理由から介護[「介護」の言い間違い]老人ホーム」に入所した。		
75	Gさんは、「自分のことは、自分でやりたい」といつも話しており、毎朝の体操が日課であった。	Terus Gさん[日本語で発話する] eee ee bagian dirinya itu pengen nge lakuin dengan dirinya sendiri. itu[日本語で発話する] selalu, dia tuh selalu ngomong kaya gitu. Pokoknya, intinya dia pengen nge lakuin, lakuin dirinya sendiri. Terus setiap pagi dia itu nge lakuin senam eu.	そして、「Gさん」は自分のことは自分でやりたい」といつも話した。とにかく彼は自分のことは自分でやりたい。彼は体操をやりたい。		
76	施設のパラプログラムである健康体操にも他の利用者と楽しみながら毎週参加していた。	terus di dalam panti, program panti itu, ada senam kesehatan, yang di mana eeee bersama pasien lain, eu, bersenang-senang eu sambil bersenang-senang. 毎週参加[日本語で発話する], setiap minggu berpartisipasi.	施設のパラプログラムには健康体操がある。他の利用者と楽しみながら体操をする。「毎週参加」していた。		
77	しかし、最近足がすくんだようになり、始めの歩をうまく出せず、歩行に不安を抱えるようになった。	Tetapi, dalam waktu singkat, sewaktu-waktu 足[日本語で発話する] nya itu, kakinya itu, eu, bengkok, eee terus, dia eee ngga bisa berjalan eee pertama kali ngga bisa berjalan karena kakinya bengkok, terus menggunakan tongkat, sambil memegang tongkat eee sambil memegang tongkat.	しかし、短い時間、時々で足が浮腫してえー浮腫し続けて歩行できます。えー初めて浮腫のため歩行できなくて、杖歩行使うようになった。杖を持ちながら、えー、杖を持ちながら		
78	Gさんは、物忘れなどの症状が以前からみられていたこと、また他の症状もみられるようになったことから、医師の診察を受けたところ、レビー小体型認知症(dementia with Lewy bodies)と診断された。	Terus Gさん[日本語で発話する]。忘れ[日本語で発話する] eee barang yang lupanya juga dia sering, ee dibanding dengan yang sebelumnya忘れ[日本語で発話する] eu, rang yang dia lupa itu sering. Terus ee selain itu ada lagi sebab, gejala-gejalanya yang terjadi dalam diri dia, terus si Senseinya itu, pengajuan untuk periksa. Terus, selama diperiksa dia terdapat dimensia dengan lewy bodies, di apa, di, telah di 判断[「診断」の言い間違い][日本語で発話する] apa itu ya telah ditentukan, dia itu ada dimensia with Lewy bodies.	そして、「Gさん」は「忘れ」、えー「忘れ」ものをすることもよくある。えー以前によくわすれものに思いつたら、他に留に止る症状が、先生が診察するようにと進めてくれた。診察しうけたところ、レビー小体型認知症「判断」「診断」の言い間違いされた。		
79	Gさんは、居室の前にあるトイレに行くとき、転倒してけがをするのではないかと不安になっている。	Terus Gさん[日本語で発話する] di dalam ee di depan kamar[日本語で発話する] di depan kamarnya itu, ee dia berjalan ke toilet[日本語で発話する], dia ee dia jatuh, dan ada luka. ではないかと不安に[日本語で発話する] Jatoh tadi けが[日本語で発話する] nya tuh ngga ada, tapi dia menjadi apa dia menjadi, eee cemas.	そして、「Gさん」は「居室」の前じゃなくて居室の前えー、彼は「トイレ」へ行つて転んだのが、「けが」はない。ですが、彼はなんだろう。彼はえー、不安になった。		

108	(総合問題3)次の事例を読んで、問題120から問題122までについて答えなさい。 〔事例〕Hさん(26歳、女性)は、腰腿損傷(lumbar spinal cord injury)で両下肢麻痺(りょうかしまひ)の障害があり、車いすを使用してADL(Activities of Daily Living:日常生活動作)は自立している。	Hさん[日本語で発話する] umur 26 tahun, perempuan eee terjadiee injuri di Lumbal tulang tengkorak belakangnya, terus kedua kakinya ada 麻痺[日本語で発話する], ada cacat 麻痺[日本語で発話する] terus menggunakan 車いす[日本語で発話する] ee	「Hさん」、26歳、女性は腰腿損傷、両足が「麻痺」、怪我也有。「車いす」を使っている。えー。		
109	銀行で働ながら一人暮らしをして、休日は、友人とスキューバダイビングを楽しんでいた。	terus eee apa 銀行[日本語で発話する] eeee atm, sambil bekerja dia hidup sendiri, terus di liburanya itu, dia sama temennya, main scuba, スキューバ ダイビング[日本語で発話する] apaan nih? pokoknya intinya dia main sama temennya main scuba daingu ini.	えー、「銀行」で働ながら一人暮らしをして、休日は、友人とスキューバ、スキューバダイビングを楽しんでいた。何でしょう。とにかく、彼女は友達とスキューバを楽しんでいた。		
110	Hさんは、こだわりや責任感が強く真面目で、悩みごとを打ち明けられない性格であった。	Terus Hさん[日本語で発話する] eee 責任こだわり[日本語で発話する] eu, Indonesia語[日本語で発話する] apa ya? keinginannya sama ke, itu kuat banget untuk, jadi dia eu, yang kesedihannya yang kaya gitu-gitu, dia eu, mempunyai sifat yang sedih, yang, pokoknya intinya dia itu kuat, orangnya tuh kuat.	「Hさん」は、えー「責任こだわり」、インドネシア「語」でなんだろう。意向が非常に強いのような悩み事、彼はえー悩みごと打ち明けられない性格。とにかく彼は強い人だ。		
111	ある日、友人が表情の暗いHさんを心配して話を聞いてみると、「食事が喉を通らず、頭痛や思考力低下があり、寝つきは良いが、すぐに目が覚めて寝れず、仕事上のミスが続く仕事に行けない日がある」と話した。	Terus, temennya, 暗い[日本語で発話する] eu, menemukan, si, si, cemas kalau si H kalau si Hさん[日本語で発話する] ini tiba-tiba, kului[日本語で発話する] sedih gitu. Jadi nanya ee makanannya eee nodonya nyam lewat apa, pas makan 食事[日本語で発話する] tuh のどは通られず[日本語で発話する], ee apa sih 通られず? hi hi hi Indonesia語は[日本語で発話する] eee ya pokoknya intinya tenggorokkannya itu lewat ngga?, terus sakit apa 力[日本語で発話する] untuk itunya itu rendah apa gimana, terus ee tidurnya itu bagus? terus, 目[日本語で発話する] nya itu bangun, apa ngga bisa tidur? 仕事[日本語で発話する] juga ada miss, terus kalau dia melanjutkan 仕事[日本語で発話する] itu kayanya ngga bisa, terus itu percakapannya dengan temennya.	「Hさん」といえば「暗く」悩みごとがある。「食事」を聞いてみると、えー「のどは通られず」、インドネシア「語」でなんだろう。「寝つきは良い」、とにかく目が覚めるとか、寝れないか、寝つきは良い。「目」が覚めて寝られないか、「仕事」上のミスもある。そして「仕事」を続けることもできない。これは友人との会話		
112	友人の勧めで専門医を受診した結果、Hさんはうつ病(depression)と診断された。	Terus si temennya itu nganjurin pake si 専門[日本語で発話する] ini dan si H ini ditemukan di ditegasi, ditemukan penyakit depresi.	友人はHさんが「専門」医を受信するように進めてくれて、うつ病と診断された。		
113	その後、治療を受けながら仕事を続けていたが、激しい動悸(どうき)、息苦しさ、めまいを伴うパニック発作が繰り返し起こり、仕事を休職して治療に専念することにした。	Terus eeee setelah itu dia menggunakan pakai pengobatan, sambil mengobati dia 仕事[日本語で発話する] sambil melanjutkan pekerjaannya, 激しい[日本語で発話する] pokoknya dia eeee ee dia itu, tapi sambil melakukan pekerjaannya dia itu sakit kepala panik ee berkali-kali terjadi, jadi makanya dia 仕事[日本語で発話する] nya itu dari 仕事[日本語で発話する] nya itu diburikan dan dia itu menggunakan, eh bukan menggunakan, dan dia itu eeee apa 治療[日本語で発話する] itu apa sih, penyaluran, untuk menyembuhkan dia.	そして、えーその後、彼は治療を受けながら「仕事」を続けて、「激しい」、とにかく彼はえー、ですが「仕事」しながら何回も頭が痛くつパニック、だから彼はえー、「仕事」を休職して「治療」、「治療」はインドネシア語でなんだろう。彼を治せるための治療。		
114	(問題120)Hさんの睡眠障害として、正しいものを1つ選びなさい。	Terus 質問[日本語で発話する] 120nya, 睡眠障害として正しいものを選びなさい[日本語で発話する].	そして、「質問」120は、「睡眠障害として正しいものを選びなさい。」		
115	1 レストレスレッグス症候群(restless legs syndrome)	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
116	2 概日リズム睡眠障害(circadian rhythm sleep disorder)	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
117	3 レム睡眠行動障害(REM sleep behavior disorder)	Penyakit tentang tidurnya apa yang benar. [しばらく黙る]レム睡眠障害[日本語で発話する] kayanya engga,	睡眠障害には何が正しいか[しばらく黙る]「レム睡眠障害」は違う。		
118	4 環境因性睡眠障害	Terus 環境因性睡眠障害[日本語で発話する] kayanya bukan deh, bukan berhubungan dengan lingkungan.	また、「環境因性睡眠障害」も違う。環境と関係ないから。		
119	5 中途覚醒	途中で覚醒[日本語で発話する] juga engga. Ntar dulu, ya. Ini kayanya.	「途中で覚醒」も違う。ちょっとまってね。たぶんこれです。		
120		Ini kayanya mah.	これだと思う。		
121				2番ですか。	
122		ya.	はい。		
123				理由?	
124		Karena kan di sini すぐに目が覚めて、寝られず[日本語で発話する], jadi, apa rizuk eee bukan rizuk, eu, apa namanya eee	ここには、「すぐに目が覚めて、寝られず」。何だろう。えー、何だろう。えー。		
125				教えなくてください。	
126		matanya kan langsung bangun dan ga bisa tidur lagi, sedangkan ee kok lupa sih, sebenarnya antara 1 apa 2 レストレスレッグス[日本語で発話する], pokoknya kalau yang nomor 4 kan berhubungan dengan lingkungan, engga. Aduh aku lupa, Eh, sorry, sorry, sorry, bukan 2 deng, bukan dua deng. Tiga, tiga. Pokoknya eee nomor 4, 5 salah, karena ngga ada hubungannya, terus kalau yang nomor 1 juga レストレスレッグス症候群[日本語で発話する] nya ini kayanya juga ngga ada hubungannya. eu, Cardiac Rhythm Sleep disorder ini kan tentang jantung ya [聞き取り不能], ngga. Pokoknya intinya juga ngga ada hubungannya, ngga berhubungan dengan. Ya, pokoknya intinya ngga ada hubungannya. Jadi nomor 2 resleg behavior disorder. Jadi yang ada hubungannya sama penyakitnya すぐに目が覚めて目が寝られず[日本語で発話する] ya nomor 3.	すぐに目が覚めて、寝られず。実は1か2かちょっと忘れた。とにかく4番の場合は環境と関係があるだろうけど、違う。途中で覚醒ととにかく4番はパニック、関係ないんだから。1番は「レストレスレッグス症候群」は関係ないからパニック、概日リズム睡眠障害は心臓と関係があるから、とにかく関係ない。要するに、この2番は「聞き取り不能」。だから、「すぐに目が覚めて目が寝られず」と関係があるのは3番ですね。		
127		だと思えます 間違っ、間違いましたかもしれない[日本語で発話する].	「だと思えます。間違っ、間違いましたかもしれない。」		
128				これはわかりましたか。	
129		意味は先生? ああ、あのう、ちょっとこれとこれは迷って、忘れて意味は、そう[日本語で発話する].	「意味は先生? ああ、あのう、ちょっとこれとこれは迷って、忘れて意味は、そう。」		
130					
131		でこれは環境員は関係がないので、途中で学生じゃなくて[日本語で発話する].	「で、これは環境員は関係がないので、途中で学生じゃなくて」		
132				4番の。	
133		そうですね、先生[日本語で発話する].	「そうですね、先生。」		
134				因性はわかりますか。	

135			ああ、これですよね[日本語で発話する].	「ああ、これですよね。」	
136					そっかそっか。
137			困性[日本語で発話する].	「困性」.	
138					
139			原因[日本語で発話する]?	「原因」?	
140			じゃない[日本語で発話する]?	「じゃない」?	
141			ふふふ[笑う.]	ふふふ[笑う.]	
142					じゃ、次、問題121です。
143	(問題121)Hさんの食欲不振や睡眠障害は改善せず、日常生活に介護が必要になり居宅介護を利用し始めた。	Hさん[日本語で発話する] nafsu makannya eee dan tidur, tidurnya itu, ngga bisa disembuhin. Terus 生活[日本語で発話する]nya, seikatsunya. 介護[日本語で発話する]nya seikatsunya itu diperlukan 介護[日本語で発話する]. diperlukan bantuan di rumah itu makanya servis yang dilakukan adalah 居宅介利用[日本語で発話する] dia melakukan servis ini, dia melakukan untuk pertama kali terus setengah harinya, dia.		「Hさん」の食欲不振や睡眠障害は改善せず、自給「生活」に「介護」が必要になり「居宅介護」を利用し始めた。	
144	半年ほど経過した頃、「早く良くなりたい」と介護福祉職に話した。	Dia eee eh setengah hari jikalau[日本語で発話する], dia pengen, dia pengen cepet sembuh, dia bilang ke si pak, ke si pak, si pegawai[日本語で発話する] si pegawainya terus apa yang harus dilakukan pegawainya untuk mengurangi yang sutrali[日本語で発話する]の読み間違い[日本語で発話する]kesedihan yang sutrali[日本語で発話する]の読み間違い[日本語で発話する].	彼はえー、半日、えー、半年「ぐらい」早くよくなりたいたい「職員」に話した。職員は「辛いこと」「辛いこと」の読み間違いを減らすためにどうしたら良いか。		
145	介護福祉職が、Hさんのつらい思いを受容した上でかける言葉として、最も適切なものを1つ選びなさい。	Apa yang kesedihan yang menjadi beban si Hさん[日本語で発話する] itu. eee, Nomor 1, karena eee kenapa nomor satu, karena kita itu mengikuti perasaannya si, si pasien ini, karena misalnya kalau misalnya si pasiennya bilang 辛い[日本語で発話する] kita juga harus ngejawab 辛い[日本語で発話する] gitu. Kaya apa sih, 共感[日本語で発話する] apa sih eee 同じ[日本語で発話する] sama? 気持ち[日本語で発話する], perasaannya. Tapi kalau misalnya すぐに[日本語で発話する] ini kayanya ngga, ngga, ngga bagus, karena, disuruh penyembuhan kan? すぐに[日本語で発話する] tuh ya 日本語で発話する. Apalagi pake ya 日本語で発話する itu kayanya menekankan, jadinya kurang bagus. Terus ゆっくり休み[日本語で発話する] itu juga nggak ada, mm, nggak sopan, nggak bagus. 関係ない[日本語で発話する]	「Hさん」のつらいことは何だ、1番だと思う。どうして1番かというと、この利用者の気持ちを読んでいたから。たとえば、もし「辛いですね」と聞かれたら「辛いですね」と答えたはず。「共感」というのは何ですか。なんど「同じ」ですかね。とりあえず「気持ち」と同じにするかな。でも、もし「すぐに」したら、違うかな。よくない、治療させるから。「すぐに」はプレッシャーだからよくない。「ゆっくり休む」も必要ですよ。		
146	1「早く良くなってくださいね」	itu juga ngga ada, ngga sopan, ngga bagus. 関係ない[日本語で発話する].	それも違う。丁寧じゃないからよくない。「関係ない」.		
147	2「すぐに治りますよ」	eeeeee.	えー.		
148	3「ゆっくり休むことも必要ですよ」	[読み飛ばす]	[読み飛ばす]		
149	4「治療、頑張ってくださいね」	Terus 治療頑張ってくださいね[日本語で発話する]. itu juga malah bikin dia eeeeee apa ya eee menekan, pokoknya intinya ngga mau menekankan, terus.	「治療頑張ってくださいね」。これも彼にとってはプレッシャー。とにかくプレッシャーじゃない		
150	5気分転換に旅行に行くといいですよ」	気分転換旅行という[日本語で発話する] juga kayanya ngga, bukan yang dia inginkan. Jadinya yang nomor 1 itu 共感的[日本語で発話する] yang apa untuk menyamai perasa, menyamai perasaan adalah nomor 1 jawabannya.	「気分転換旅行という」も違う。彼のしたいことじゃない。だから気持ちを伝えるための1番の「共感的」が答えじゃないかな。		
151					3番はどうして違うと思いますか。ゆっくり休むことも必要ですよ。どうして違うと思いますか。インドネシア語でどうぞ。
152		ああ、はい[日本語で発話する]. Kenapa beda? Karena kan istirahat itu adalah penting, tapi kan maksudnya yang pengen dia bilang kan di sini eee pengen dia itu pengen cepet, 早く[日本語で発話する]. pengen dia tuh cepet sembuh kan di sini. Jadi maksudnya, ya kalau di dalam buku 共感[日本語で発話する] untuk menyamai perasaan persamaannya ya memang harus kita mengulangi apa yang dia ucapin gitu, maksudnya ya kita ikut, ikut merasakan apa yang dia pengen gitu. Kalau aku bilang mah gitu.	「ああ、はい」。どうして違うかな。休むことは大事なことだから。でも彼は「早く良くなりたい」と言ってきたので、強化かでは、「共感」は気持ちと一緒だから。彼が言っていたことをもう一度繰り返すでしょう。私たちが彼のやりたいこと、つまり彼の気持ちに合わせることを私が言いたいことです。		
153					
154					共感という言葉から1番を選んだことですね。はいわかりました。じゃ、問題122番。
155	(問題122)Hさんは仕事を休職して治療に専念した結果、趣味のスキューバダイビングが楽しめるまでに回復した。介護福祉職に、「仕事に復帰しようと思っている」と話した。介護福祉職が紹介するサービスとして、最も適切なものを1つ選びなさい。	Si Hさん[日本語で発話する] mendapat, mendapatkan libur dari pekerjaannya untuk pemeriksaan hasil dari pemeriksaannya. Terus dia juga ada hobi, yaitu スキューバダイビング[日本語で発話する]. Terus sampai dia sembuh ee apa yang un ia laku pegawai 職員[日本語で発話する] pegawainya lakukan untuk si kesembuhan 仕事に回復[日本語で発話する] apa. Untuk kembali lagi ke pekerjaannya, jadi 一審[日本語で発話する] servis yang dilakukan itu apa?	Hさんは仕事を休職して治療に専念した結果、趣味の「スキューバ、スキューバダイビング」[ダイビングの読み間違い]が楽しめるまで「仕事に回復」した。ですから「1審」のサービスは何をしていたか。		
156					考えていることをインドネシア語で、

157		うん、はい先生【日本語で発話する】。Kayanya sih yang nomor satu ee rework program ya. Yang aku pilih nomor 1. Karena kalau respite service ini adalah yang di mana eeee apa sih eee ini itu ee kalau misalnya nih ya respite service itu buat keluarga, misalnya keluarganya itu anaknya tuh ada cacat, tapi si keluarganya disuruh yasumi, itu adalah artinya respite service ini. Kalau peer konseling mmmm konseling 相談【日本語で発話する】 itu, apa eeeee kayanya bukan deh, bukan peer konseling, bukan eee bukan ini yang tepatlah pokoknya. Terus self help group itu juga, bukan, ya intinya bukan ini. ガイドヘルプ サービス【日本語で発話する】 ya membimbing, bimbing, untuk membimbing Saya kira juga bukan, pokoknya rework program. Jadi, dia kan pengen kembali lagiしようと思ってる ini 話したから【日本語で発話する】, makanya di-rework, dilulang lagi program, eu, apa supaya dia bisa balik lagi ke 仕事【日本語で発話する】nya.	「うん、はい先生」。もしかしたら1番ですね。理由は復帰するプログラムは、えーなんですかね。えー例えばフレックシャーがあったら、例えば家族にとって、子供が障害があるとしたら、でも家族を休ませられたら、レスパイトサービスというんですね。「相談」も違うんですね。えー違うんですね。相談じゃない。とにかくこれが正解なのだ。事故介助グループも違う。「ガイドヘルプ サービス」は指導するためのだから、「違うと思う」。彼は仕事に復帰したいと話したから、仕事に復帰プログラムをまた繰り返す。彼は「仕事」に復帰できるようにしたいから。		
158	1 リワークプログラム	【読み飛ばす】	【読み飛ばす】		
159	2 レスパイトサービス (respite service)	【読み飛ばす】	【読み飛ばす】		
160	3 ピアカウンセリング (peer counseling)	【読み飛ばす】	【読み飛ばす】		
161	4 セルフヘルプグループ (self-help group)	【読み飛ばす】	【読み飛ばす】		
162	5 ガイドヘルプサービス	【読み飛ばす】	【読み飛ばす】		
163					もう一度問題121について少し伺います。この問題の中で、介護福祉職がHさんの辛い思いを重要。
164		eeeeeee Pegawai, Si Hさん【日本語で発話する】 punya ke-つらい【日本語で発話する】 an.	えー、職員「Hさん」が「つらい」ことがある。		
165					辛いかわかりますか。
166		つらいはわかります 先生 あのう、かなし、悲しいこと【日本語で発話する】?	「つらいはわかります。先生。あのう、かなし、悲しいこと?」		
167		Eee, oh 間違いましたね、先生 早く、ねこれは、3番ですね先生【日本語で発話する】。	「えー、間違いましたね、先生。早く、ねこれは、3番ですね、先生。」		
168					インドネシア語で、じゃ、なぜそう思ったか理由を言って下さい。
169		apa, si, karena si pegawainya ini untuk 重たい 重用した上でかける言葉として【日本語で発話する】。karena si, apa si pasiennya kan bilang, dia pengen cepet sembuh, jadi si pasi si pegawainya nih, sebagai kita sebagai pegawainya untuk dapat mengurangi, apa 重用したい【日本語で発話する】 apa eee untuk mengurangi, bukan untuk mengurangi, untuk menanggapi, menanggapi omongan yang si pasien ini bilang, karena dia ingin sembuh ya dengan kata ya, apa, dia ya memang harus istirahat sih. Dia memang harus banyak istirahat. Bukan, kata 早く治ってください【日本語で発話する】 itu, bukan kayanya, ya, ya, ya 思い出しました。3番。3番先生【日本語で発話する】。Kayanya nomor, lebih tepatnya 3, karena untuk apa, yang pasien bilang pengen dia cepet sembuh dan gimana cara dia cepet sembuh ya lebih bagusnya dia 休憩【日本語で発話する】. istirahat, apa tuh?	何だ。職員は「重たい」ためだから、「重用した上でかける言葉として」。理由としては、利用者が早くになりたいといっていた。だから職員は職員として減らすことができるように「重用したい」。えー何？減らすんじゃないやなくて、受け答えをすることだ。つまり、利用者の言っていることを受け答えることだ。彼は良くないやないと言っていたから。彼は良く休まなければなりません。「早く治ってください」という表現は違うと思えます。へー「思い出しました。3番。3番先生」。正解は3番だ。利用者が早くになりたいから、よくならないようにするためにどうしたら良いか、やはり「休む」ことですね。		
170					うん、気がつきましたと言ってましたけど、あの何を気がつきまして3番にかえましたか。
171		あのう、ここですね先生【日本語で発話する】	「あのう、ここですね、先生。」		
172					うん、うん、うん。
173		あのう、早く【日本語で発話する】。intone, ちょっと【日本語で発話する】。eeeeee	「あのう、早く、よくなってくださいねえ。って、えー 発音が、「ちょっと」、えーなに?」		
174					よくなって、
175		「よくなってくださいねえ」って【日本語で発話する】 eee	「よくなってくださいねえ。って」、えー		
176					インドネシア語でいいですよ。
177		Apa, apa intonasinya itu apa kaya kurang pas. eee negga cocok gitu.	なんか発音あまり正確じゃない。		
178					尊敬語じゃないからです。
179		bukan sonkeigo.	尊敬語じゃない。		
180					合わないってこと?
181		lya maksudnya eu, 「早くってください」【日本語で発話する】 tuh kayanya kita itu kaya, "Ya udah, kuat" gitu.	はい、つまり、えっと、「早くってください」というのは「しっかりとってください」と同じ意味を持っている。		
182		Heeh, Bukan, eeee Kita nyuruh dia tuh ya udaah.	うん、いや、違う。私たちが彼を命令するんだ。		
183		Kita nyuruh dia tuh ya udah, Jadinya tuh kaya nyuruh dia tuh "ya udah cepetan sembuh" gitu deh.	「早く、よくなってくださいね」と言ったらわたしが彼を命令したみたいです。		
184					どうして3番にしましたか。
185		Ah, karena dia ingin cepet sembuh, jadi gimana kan dia itu kan orangnya negga negga, di sini kan 寝られず【日本語で発話する】. eu, apa namanya, sama depresi juga kan? Jadi, karena dia kurang tidur, depresi juga, ya, kalau misalnya untuk ma, untuk penyembuhannya supaya dia ini yaa, apa namanya yaa bagus tidur karena kan kita tidur bagus kan adalah suatu eeee untuk penyembuhan untuk penyakitnya.	あー、彼が早く治りたいから、彼が「寝られず」というのはうつ病と同じじゃないかな。「寝られず」というのだから、うつ病だと意味でしょう。それを治療するために今はやはり寝ることが良いと思います。寝ることは病気を治療するために良いでしょう。		
186					うん? 休むのが重要だから3番ですか。
187		はい、そうです【日本語で発話する】。	「はい、そうです。」		
188					はい、ありがとうございました。